2026年10月30日　No.1500

A weekly letter

A DAY



株式会社　上坂経営センター
TEL　0776-36-8180
FAX　0776-36-8245
URL　https://www.uesaka.ne.jp
Mail　uesaka-t@mitene.or.jp

論説主幹　公認会計士　上坂朋宏

■感謝！！ ADAY1500号を迎えました。

1994年11月7日に第1号を書いてから、32年。今週、ADAYは1500号を迎えました。ありがとうございます！！1500という数字を眺めながら、よくここまで書いてきたものだな～と、少し感慨深い思いでいます。

32年前、日本はバブル崩壊後の厳しい時代にありました。お客様の経営環境も悪くなり、会計や税務の仕事だけをしていて、本当にお客様のお役に立てるのだろうか？と考えていました。そして、**自分にできることは何だろう？そんな思いから、世の中の出来事や経営に関する情報を、自分なりの視点でお届けしようと始めたのがADAYです。**当時は、インターネットも今のように普及しておらず、情報を得ることも、今ほど簡単ではありませんでした。それが今では、AIに質問すれば、驚くほど多くの情報を、あっという間に教えてくれる時代になりました。

32年という歳月は、それほど長い時間だったのですね。でも、その間、**私がやってきたことは、あまり変わっていません。世の中で起きていることを見て、感じて、考える。そして、文章にする。ただ、それを繰り返してきた**だけなんです。

■読者の皆様に育てられて

これまでに、何度かADAYを書くのをやめようかな？と思った時期がありました。毎週書き続けるというのは、思っていた以上に大変なものでした。

ところが、不思議なものです。そんな時に限って、読者の方から「今週のADAYはよかったです」「同感です」「いつも楽しみにしています」といった言葉をいただくのです。その一言が、どれほど嬉しかったことか。書くのをやめようかな？と思っていたのに、また、来週も書いてみようと思わせてくれるのです。

そうして、一週間、一週間と書き続けているうちに、1500号になっていました。今では、約1500名の方にお届けしています。さらに、会社の中で回覧していただいているところもあり、実際には、もっと多くの方に読んでいただいているようです。とても嬉しいです。

文章というものは、書くだけだと、ただの文章です。**読んでくださる方がいて、初めて、そこに何かしらの意味が生まれるのではないでしょうか。**そう考えると、ADAYを1500号まで続けてこられたのは、私一人の力ではありません。読者の皆様が、32年間、私を支えてくださったのです。

心より、感謝申し上げます。

■変わるものと、変わらないもの

32年間、世の中は大きく変わりました。

日本経済の勢いは弱まり、中国やインドをはじめとするアジアの国々が、世界経済の中で大きな存在になってきました。企業経営も、デジタル化からDX、そしてAIの時代へと進んでいます。これから先、いったいどんな世の中になるのでしょうか？私は、とても楽しみにしているんです。

1994年の創刊号では、「いつでも夢を！」という題名で、アジアの成長について書きました。当時の日本人の価値観だけでアジアを見てはいけない、という趣旨の文章でした。あれから32年。やはり、自分の知っている世界だけで、世の中を判断してはいけないのだな～と強く感じる日々です。だから、私は旅に出ます。本を読みます。そして、人の話を聞きます。**自分の知らない世界に触れ、自分とは違う考え方に出会う。そこには、いつも新しい発見**があり、それが、とても嬉しく、なんとも言えない充実した気持ちになるのです。

一方で、**どれだけ時代が変わっても、変わらないものがある**ように思います。人を思いやる心、誠実であること、感謝すること。そして、自分自身を磨き続けること。そういう目には見えないものこそ、人間にとって大切なのではないでしょうか。経営も同じです。

技術や仕組みは変わっても、お客様のお役に立とうという思いは、変わってはならないものだと思います。

■これからも、自分の言葉で

先週のADAYで、書き続けることが、いつの間にか自分自身を変えてくれていたのではないか？ということを書きました。私が学んできたことや、旅先で出合ったもの、感動した映画や、心に残った言葉。そういうものを、毎週、文章にしてきました。そして、書くた

びに、自分自身が少しずつ成長させてもらっているように感じています。

以前、**今まで書いたADAYで、一番印象に残っているのは何号ですか？と聞かれたことがあります。その時、私は「一番直近のADAYです」と答えました。**

今も、その思いは変わっていません。なぜなら、過去に書いたものより、これから書くものの方が楽しみだからです。1500号は、確かに一つの節目です。でも、私にとっては、1501号、1502号と、まだ見ぬ世界について考え、書いていくことの方が楽しみなのです。

これから、世の中はもっと大きく変わっていくのでしょう。**AIがどれほど進化しても、自分の目で見て、自分の心で感じ、自分の頭で考えることは、これからも大切にしていきたい**と思います。

そして、それを自分の言葉で、皆様にお届けしていきたいのです。何かしら、皆様の人生や経営において、お役に立てることがあれば、これほど嬉しいことはありません。まだまだ、知らないことがたくさんあります。行きたい場所がたくさんあります。読みたい本もたくさんあります。会ってみたい人もたくさんいます。

そう思うと、これからの人生も、なかなか楽しそうです。

ちょっと傲慢かもしれませんが、**私には、このADAYについての夢があります。**それは、今後、10年先か20年先かもっと先でも、いつかその時代の経営者が、そういえば、「ADAYってなんか毎週書かれていたレポートがあったよね。あれに、〇〇みたいなこと、書いてあったよね。」と誰かが、話してくれること。僕の名前でなくて、**ADAYに書いていた内容が、どこかで、生き続けていてくれること**です。あり得ないか？？笑

1500号までお付き合いいただいた皆様、本当に、本当にありがとうございます。これからも、元気である限り、ADAYを書き続けていきたいと思います。そして、これまでと変わらず、感じたこと、考えたことを、私なりの言葉でお伝えしていきます。

来週は、1501号です。引き続き、どうかよろしくお願いいたします。

長い間のご愛読、心より感謝申し上げます。

上坂朋宏　拝